

# JTRA News Letter

日本治療的乗馬協会ニュースレター 第1号

編集・発行 特定非営利活動法人  
日本治療的乗馬協会  
発行日 2007年11月1日

日本治療的乗馬協会では、治療的乗馬に関わる分野の情報を皆様にお届けすることを目的に、JTRA News Letter を発行する運びとなりました。当初は、年2回程度の発行を予定しております。

## ご挨拶

日本治療的乗馬協会（Japan Therapeutic Riding Association : JTRA）は、2005年11月にドイツからカール・クルーバー博士らを東京に招聘し、＜日本におけるドイツ2005-2006＞プログラム「セミナー2005『治療的乗馬 - 理論と実際 - 』」を企画・運営したグループが設立の母体となりました。私たちは、「セミナー2005」の成功を受け、日本における「治療的乗馬」分野の質的な向上と社会への普及を願い、実践に関する意見交換および研究報告の機会として、翌2006年に「『治療的乗馬』研究集会2006」を開催しました。この研究集会には、国内各地からの50名あまりの参加者と8題の演題発表があり、各発表に対して、参加者各々の立場から活発な討議をすることができました。

研究集会の準備と並行して、実践や研究の交流を安定的に実施し我が国における本領域の充実に資することを目的に、特定非営利活動法人の設立を準備すすめ、2007年3月に特定非営利活動法人日本治療的乗馬協会として認証されました。

本年11月に開催の「『治療的乗馬』研究集会2007」は、NPO認証後初めての研究集会となり、主催は「日本治療的乗馬協会」となりますが、運営は今までと同様に、「治療的乗馬研究会」が研究集会の企画・運営を行ないます。

私たちは、本領域の日本における質の高い実践、健全な発達そして社会への普及を心から願い、関係の皆様方と手を携えていきたいと心から願っております。その意味からも、研究集会、このニュースレター、そして近日中にアップ予定のホームページ等が多くの方々の広場になればと考えております。

なお、本協会は、治療的乗馬に取り組まれている方、また、関心をお持ちの方に入会していただくことができます。入会に関する申し込みは、下記事務局へまでお問合せください。

特定非営利活動法人 日本治療的乗馬協会理事長  
滝坂 信一

NPO 日本治療的乗馬協会事務局 担当 樋川（ひかわ）  
〒113-0001 東京都文京区白山1-20-4 ハウス白山ビル6階  
TEL : 03-3813-3819 FAX : 03-3813-3868

## これまでの主な活動

- 2005年11月 「セミナー2005『治療的乗馬 - 理論と実際 - 』」開催  
ドイツよりカールクルーバー博士を招聘しての講義・実技
- 2006年11月 「『治療的乗馬』研究集会2006」開催

## ○『治療的乗馬』研究集会 2007 の開催

1. 日 程 : 2007 年 11 月 10 日 (土)・11 日 (日)
2. 場 所 : 国立オリンピック記念青少年総合センター (小田急線「参宮橋」下車、徒歩 5 分)
3. 内 容 : 治療的乗馬, 障害者乗馬にかかる実践, 研究の報告とこれに基づく協議を内容とする研究集会。印刷資料, 10 分程度に編集された実践ビデオ等に基づくプレゼンテーションと協議。

## ○「治療的乗馬」の実践を理論から理解をすすめるために

障害のある人々への馬を用いた対応については, その意味が様々な理論から説明されています。「研究集会 2006」で話題になったもののなかから, 日本語に訳されている図書の主なものを挙げます。

### 1. エアーズの感覚統合理論

○『子どもの発達と感覚統合』 J.エアーズ著・佐藤剛監修 協同医書出版. 1982.

### 2. ボバース

Bobath 夫妻によって理論と方法が開発された脳性マヒ等運動障害のある人々に対する訓練の方法。

○『脳性麻痺の類型別運動発達』 ベルタ・ボバース・カレル・ボバース著・紀伊克昌訳・医歯薬出版. 1978.

### 3. フロスティッグ (Marianne Frostig) <知覚-運動 (Sensory-Motorik) >理論

○『フロスティッグのムーブメント教育・療法理論と実際—』 マリアンヌ・フロスティッグ・小林芳文訳. ISBN978-4-8210-7337-5. 日本文化科学社

### 4. フェルデンクライス

○『フェルデンクライス身体訓練法』 M.フェルデンクライス著・安井武訳・大和書房. 1982.

○『心をひらく体のレッスン—フェルデンクライスの自己開発法』

M.フェルデンクライス著・安井武訳・新潮社. 1988.

○『脳の迷路の冒険— ノーラの症例』 モーシェ・フェルデンクライス著・安井武訳・壮神社. 1991.

### 5. ケファート (N.C.Kephart) <知覚-運動 (Sensory-Motor) >理論

○『発達障害児 (上) (下)』 N.ケファート著・大村実訳・医歯薬出版. 1997.

### 6. ヴォイタ

Vojta によって理論と方法が開発された脳性マヒ等運動障害のある人々に対する訓練の方法。

○『ボイタ法の治療原理-反射性移動運動と運動発達における筋活動』 Vclav Vojta, A. Peters 著・富 雅男訳・医歯薬出版. 2002.

## 《編集後記》

日本治療的乗馬協会として認証され, はや半年が経ちました。皆様のお手元へ情報をお届けするニューズレターの発行をすることが出来るようになりましたことをとても嬉しく思っています。当初は年 2 回の発行を目指し, 「治療的乗馬」に関わる様々な情報をお届けできるよう企画・編集を行なっていきたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。(川嶋)

問い合わせ先 〒243-0034 神奈川県厚木市船子 1737

東京農業大学農学部動物介在療法学研究室内

日本治療的乗馬協会ニューズレター編集担当 川嶋

電話 : 046-270-6268 Fax : 046-270-6260